<参考資料>

全国で発生した毒キノコにおける食中毒事件の例

発生年月	発生場所	原因食品	患者数	概要
令和7年10月	家庭	キノコのバター炒め (ツキヨタケ)	3名	知人から譲り受けたキノコ(ヒラタケ として渡されたもの)を患者自宅で調 理して喫食
令和7年10月	家庭	ゆでたキノコ (クサウ ラベニタケ (推定)) の 大根おろしがけ	3名	患者が野生のキノコを採取し、家庭で 調理し夕食に喫食
令和6年7月	事業所 (寄宿舎)	ドクツルタケ及びコテ ングタケモドキ (推定)	1名 (死亡)	患者が採取し調理したものを喫食
令和6年10月	家庭	自宅での調理品 (オオシロカラカサタケ (推定))	1名	自宅の庭で採取し調理したものを喫 食
令和6年10月	飲食店	ツキヨタケ(推定)の鉄 板焼き	8名	客が山で自生してしたキノコを飲食 店に持参し、調理を依頼
令和5年9月	家庭	キノコの炒め物 (テング ダケ)	4名	公園で採取したキノコをインターネットの画像検索情報をもとに、食べられると思い喫食
令和5年10月	家庭	キノコの味噌汁 (ドク ツルタケ (推定))	2名 (1名 死亡)	自宅の裏山で採取し調理したものを 喫食
令和5年10月	家庭	自宅での調理品 (ツキョ タケ)	6名	採取したキノコを同じ職場の6人に 譲渡。喫食した7人のうち4家族6人 が発症

県内の毒キノコによる食中毒発生状況(昭和42年以降)

涫